

一般社団法人 名古屋林業土木協会のご紹介



協会活動の目的

- 当協会は、国土の保全、水源のかん養、生活環境の保全等を目的に実施される林業土木事業の公益性に鑑み、事業の普及啓発、技術の向上、経営基盤の強化並びに森林・林業に関する施策の推進等に関する事業を行い、もって国土の保全及び地球環境の保全並びに林業土木事業の発展に寄与することを目的とする



協会の概要

1 中央団体 (一社) 日本林業土木連合協会
全国14の地方協会

2 全国会員数：552社
名古屋協会は富山・岐阜・愛知県内の60社

3 構成員
林野庁所管の国有林を主体に森林整備のための路網整備や荒廃山地の復旧等を行う治山事業などを実施している事業体。

名古屋林業土木協会の事業内容

- 林業土木事業に関する安全の推進確保
- 林業土木事業に関する技術向上のための研修会等の実施
- 林業土木事業に関する普及啓発及び広報
- 林業土木事業に関する調査研究及び情報提供
- 社会貢献活動等の実施を通じた山村地域振興への寄与
- 林業土木及び森林・林業に関する関係機関、団体との連携及び各種施策の推進
- その他目的達成のために必要な事業



令和3年4月 1 日

一般社団法人名古屋林業土木協会のSDGs宣言

会長 三尾 秀和

・一般社団法人名古屋林業土木協会は、岐阜、愛知、富山管内の国有林内の林業土木に携わる会員の技術の向上、経営基盤の強化等に関する事業を行い、もって国土の保全及び地球環境の保全並びに林業土木事業の発展に寄与することを目的として活動している団体です。建設業としての林業土木は森林の保全インフラ整備や防災、更には環境、エネルギーといった人々の暮らしに大きく深くかかわりこれを担っている業界。まさにSDGsのあらゆる局面に関与しています。フォレストサポーターズ活動にも積極的に参加し、日々研鑽し、地域に必要とされる林業土木業界として活動します。

SDGsの考え方である、精神的な豊かさや価値観が合う生き方、共感社会になっていくという動きを理解して、我々協会員一人一人が本気でSDGsを行動につなげ、お客様や地域から信頼され、持続可能な地域社会の創造に貢献できるように尽力していきます。

一般社団法人名古屋林業土木協会は、SDGsを社会貢献の一つとして考えるのではなく

『一致団結し確実な協会活動を行うこと

= SDGsの目標達成』と考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



森林管理署、労働基準監督署、各支部が 合同安全パトロールを実施



東濃3支部



小坂支部



岐阜支部



富山支部



飛騨4支部



愛知支部



技術向上のための研修会等の実施

現場技術者の講習会



安全技術対策委員会の現地研修
中央構造線博物館において



林野庁

ホーム > 分野別情報 > 美しい森林づくり推進国民運動

美しい森林づくり推進国民運動

「美しい森林づくり推進国民運動」とは

美しい森林づくり推進国民運動は、京都議定書森林吸収目標の達成や生物多様性保全等国民のニーズに応えた森林の形成を目指し、間伐の遅れの解消や100年先を見据えた多様な森林づくりを推進していく民間主導の国民運動です。

平成19年6月に経済団体・教育団体・環境団体・NPOなど47構成団体により設立された美しい森林づくり全国推進会議では、平成24年6月に第6回美しい森林づくり全国推進会議を開催し、森林づくりに関する講演や事例発表を行うなど、本運動の参加・協力者の拡大に取り組んでいます。

また、個人・団体などへの一層の拡大・浸透を図るため、本運動の一環として、平成20年12月から社団法人国土緑化推進機構により、フォレスト・サポーターズへの登録が開始されています(平成25年6月時点の登録数は、約4万件)。

関連リンク

- 美しい森林づくり全国推進会議



美しい森林づくり推進国民運動を民間で進める全国組織です。
→ [詳しくはこちらから](#)

- フォレスト・サポーターズ



森づくりのための行動に参加する方々を「フォレスト・サポーターズ」として登録する仕組みです。

森づくりのための4つのアクション(「森にふれよう」「木をつかおう」「森をささえよう」「森と暮らそう」)のうちどれか1つでも実行していれば登録できます。

→ [詳しくはこちらから](#)

- 森ナビ
- 木づかい運動
- 緑の基金
- 2011 国際森林年

— お問い合わせ先 —

森林整備部森林利用課山村振興・緑化推進室
担当者: 美しい森林づくり推進班
代表: 03-3502-8111 (内線6217)
ダイヤルイン: 03-3502-8243
FAX: 03-3502-2887

美しい森林づくり運動に賛
同
フォレストサポーターズに
登録

普及啓発活動

協会事務所外壁にPR看板設置

森林林業に関する写真の掲示

地域振興に関するPR



社会貢献活動

自然休養林や貴重な自然環境
などの保全活動



天生自然観察教育林(岐阜県飛騨市)



木道の整備

獣害被害防護柵の設置



山中山ミズバショウ植物群落保護林
(岐阜県高山市)

社会貢献活動

国有林における「レク森」オフィシャル・サポーター制度に基づく支援協定を締結

地元小学生の自然環境教育と丸太ベンチの設置



飛騨白山白川郷自然休養林（岐阜県白川村）





国土の特徴と山地災害発生リスクの高まり

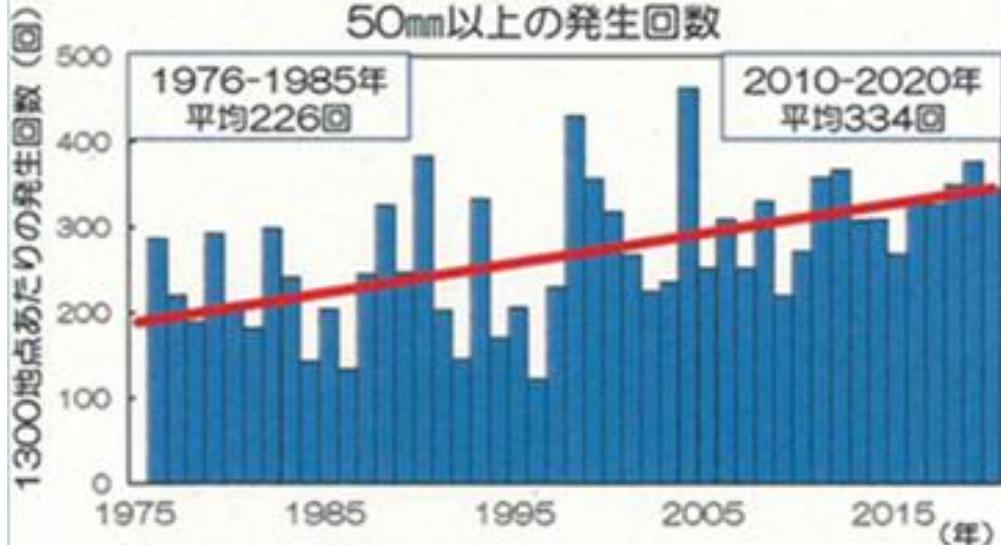
我が国の国土の約7割を占める森林は、急峻な地形や脆弱な地質の上に存在していることに加え、梅雨や台風等による集中豪雨に見舞われやすい気象等の条件下にあることから、毎年多くの山地災害が発生しています。また、地震や火山、地球温暖化による集中豪雨により、山地災害の発生リスクは高まっています。

集中豪雨

「IPCC第5次評価報告書」において、地球温暖化により極端な降水がより強く、頻繁となる可能性が非常に高いこと等が指摘されており、山地災害の発生リスクが高まることが懸念されています。

日本では、1時間降水量50mm以上となる短時間強雨が増加傾向にあるほか、平成25年以降、全国の約3割の気象観測地点において時間雨量が観測史上1位を更新するなど、短時間豪雨の発生回数が増加傾向にある。

全国 [アメダス] 1時間降水量50mm以上の発生回数



※気象庁HPデータをもとに作成

気候変動に伴う降水量や洪水発生頻度の変化

＜地域区分毎の降雨量変化倍率＞

地域区分	2℃上昇 (暫定値)	4℃上昇	
		短時間	年間
北海道北部、北海道南部、九州北西部	1.15	1.4	1.5
その他12地域	1.1	1.2	1.3
全国平均	1.1	1.3	1.4

※4℃上昇の年間降水量変化率のうち、短時間とは、時間雨量が30mm以上の時間雨量のこと



＜参考＞降雨量変化倍率をもとに算出した、流量変化倍率と洪水発生頻度の変化

気候変動シナリオ	降雨量	流量	洪水発生頻度
RCP2.6(2℃上昇相当)	約1.1倍	約1.2倍	約2倍
RCP8.5(4℃上昇相当)	(約1.3倍)	(約1.4倍)	(約4倍)

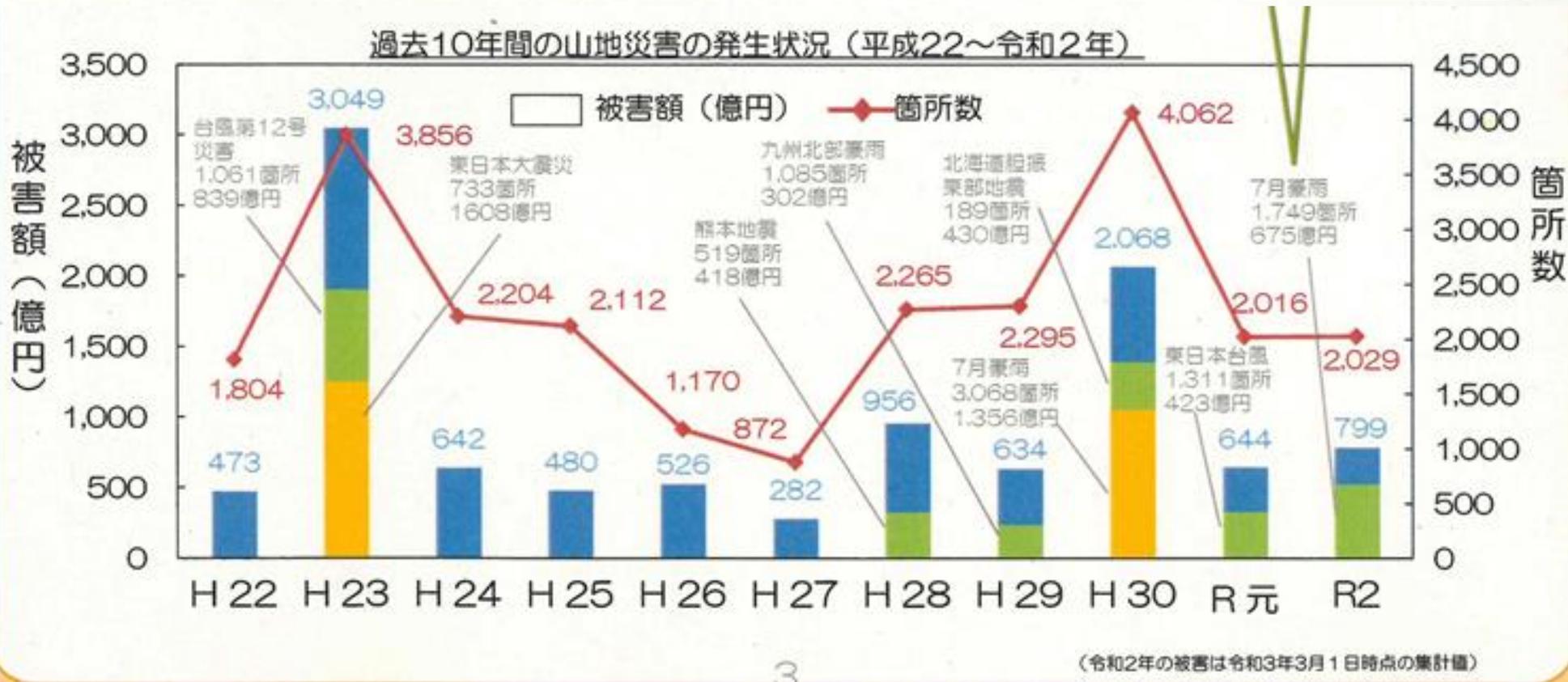
(出典：国土交通省「気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会資料」)



近年における山地災害の特徴

山地災害の発生状況と発生形態の変化

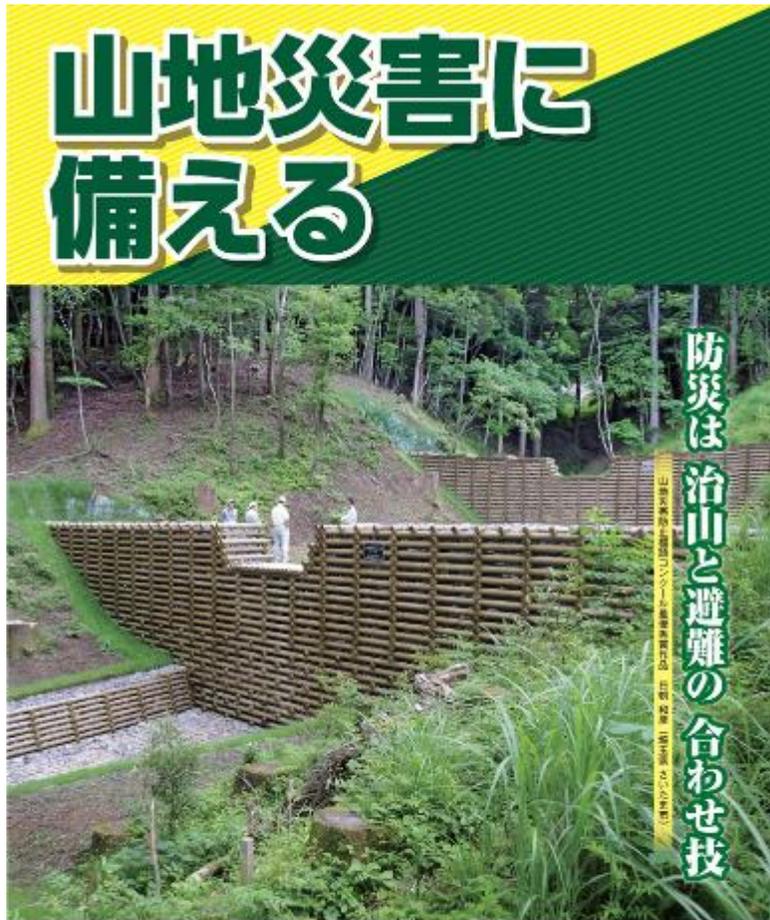
平成23年から令和2年までの10年間の山地災害の年間平均発生箇所数は、約2,300箇所、被害額は約1,000億円となっており、毎年多くの人命・財産が失われるとともに、道路・鉄道等のライフラインの寸断などの甚大な被害をもたらしています。また、近年の降雨形態の変化による降水量・流量の増加によって、山地災害の発生形態も変化しています。



平時の防災活動

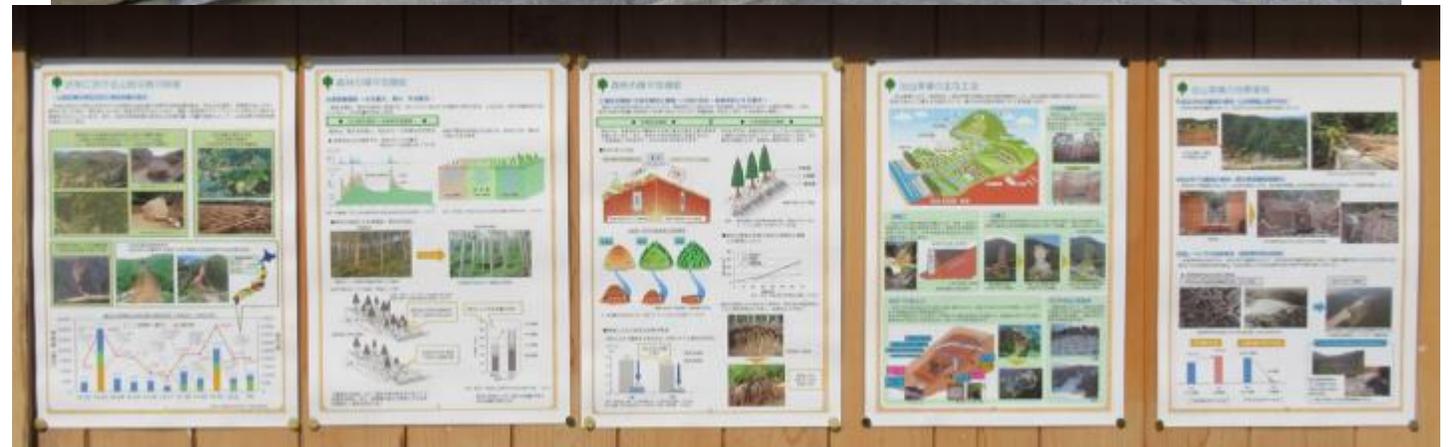
山地災害防止キャンペーンPR

平成12年9月発生 of 東海豪雨（恵南豪雨）災害の被害状況、復旧状況森林の持つ国土保全機能等について掲示し防災意識の啓発



令和3年度 山地災害防止キャンペーン

期間	令和3年 5月20日(木) - 6月30日(水)
主催	林野庁 / 都道府県 / 市町村
協賛	(一社)日本治山治水協会



平時の防災活動

長野県西部地震災害復興30周年シンポジウムに協力

長野県西部地震復興30周年シンポジウム プライベート(青年部研修会)

平成26年8月17日(水)～18日(木) 長野県木曾郡王滝村 ほか

「よみがえる御岳」現地視察 及びシンポジウム 参加報告 一般社団法人名古屋林業土木協会

「御岳山」の登山口
「田の原」から見た御岳
頂上と「御岳崩」です。

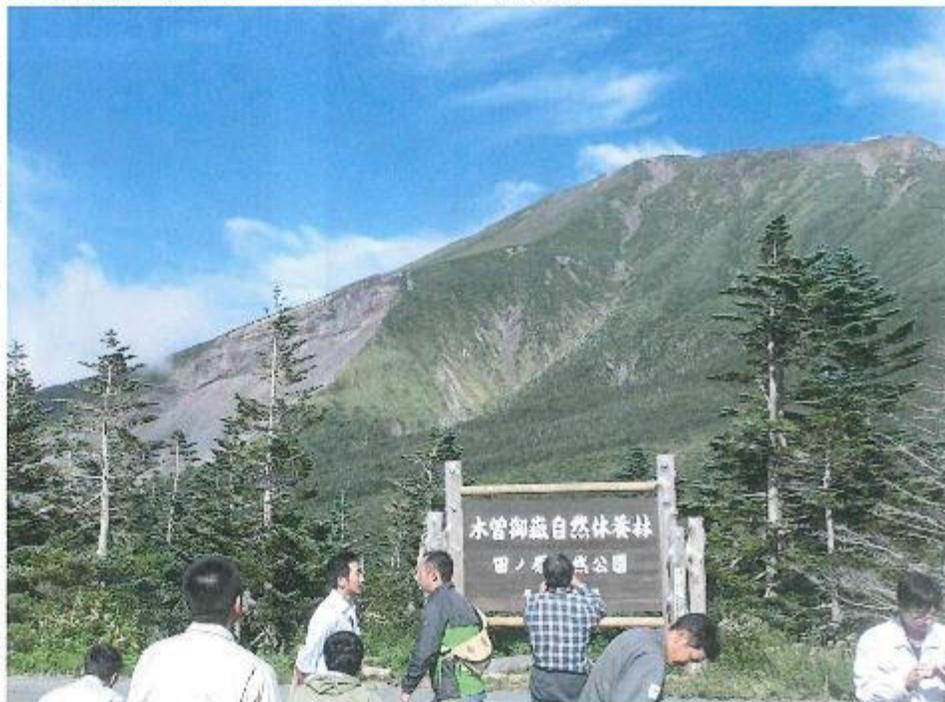


協会青年部は研修会の一環として現地視察を企画し、長野協会とも連携して実施しました。

頂上左下に見える大崩壊地が地震で崩れた「御岳崩」の源頭部です。

昭和59年(1984年)9月14日 王滝村直下で発生したM6.8の大地震で御岳崩の土砂約3,600万m³が流下しました。

流下した「伝上川」「濁沢」を間近に見る「展望台」で、施工に携わった三尾長平さん(付知十建(株))から当時の様子を伺いました。



← 見えている沢が濁沢。右側には伝上川が。伝上川から高さ100mの尾根を越えて濁沢に土砂が流入したそうです。緑がよみがえりました。



「ぼうさいこくたい2019」を青年部研修会で見学



災害発生時の防災活動

○国有林防災ボランティアの協定に基づく活動

○国有林内における林地崩壊、治山・林道施設の被害状等調査



災害発生時の防災活動

地域の守りてとしてライフラインの確保等に活躍

○令和2年7月豪雨災害 応急復旧等
岐阜県下呂市内



○平成元年7月豪雨災害時
昼夜を問わず応急復旧にあたる会員企業



○ JR高山線への流出土砂除去の様子



ご静聴ありがとうございました。



一般社団法人 名古屋林業土木協会